

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年(2025年)4月11日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C	令和7年(2025年)4月11日	
横断的な課題	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進						
地域重点政策	信州まつもと空港の利用促進と拠点整備の推進					松本地域振興局	
実施機関	松本地域振興局			担当課	所属	商工観光課、企画振興課	
事業名	地元特産品魅力発信事業				電話	0263-40-1933(商工観光課) 0263-47-8904(企画振興課)	
				E-mail	0263-40-1933(商工観光課) 0263-47-7821(企画振興課)		
事業の概要	目的 (目指す姿)	信州まつもと空港の定期便就航地において、地元特産品を紹介することにより、空港の利用促進と地元特産品の消費拡大を実現する					
	現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●RKB毎日放送のイベントは、松本市及び信州まつもと空港地元利用促進協議会等が20年以上にわたり信州ブースを設置し、出展を続けてきた。 ●本事業における地元特産品(ワイン、伝統的工芸品)のPRを通じて、信州ブースの訴求力が向上し、リピーター確保、信州のファンづくりにつながっている。 ●令和5年度のまつもと空港の利用者数は、開港以来2番目に多く、中でも福岡便が最も多い8万8000人余りとなり、事業の成果が出始めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松本地域の伝統的工芸品の一つである「木曾漆器」は、全国認知度が県内の伝統的工芸品の中で最も高いものの(令和4年長野県調査)、売上向上や業界発展に結びついていない。令和5年4月に「長野県の美しい伝統的工芸品を未来につなぐ条例」が制定され、県としても、市町村等と連携して、積極的に支援をしていく必要がある。 ●昨年は県職員5名が現地へ出向き、グラスワイン販売等の対応をしていたが、より効率的に事業を行うため、業務委託内容を見直す必要がある。 					
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ●当地域の特産品であるワインと伝統的工芸品を組み合わせる魅力を発信することにより、新たなファンを開拓し、消費拡大を図るとともに、信州を身近に感じていただき、信州まつもと空港の利用促進につなげていく。実施にあたっては、以下のイベントに出展し、信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携して行う。 <p>[イベント概要]</p> <p>名称: RKBカラフルフェス2024 開催日時: 2024年10月12日(土)・13日(日) 出展場所: 福岡県福岡市早良区百道浜2-3-8(RKB毎日放送会館西側駐車場) 主な内容: ・桔梗ヶ原ワインバレー及び日本アルプスワインバレーのワイン及びぶどうジュースの提供 ・木曾漆器箸(アンケートノベルティ)の提供 ・伝統的工芸品(木曾漆器グラス・お椀・箸、曲げ物等)の展示</p>					
	事業期間	令和6年9月		～	令和6年10月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	RKB毎日放送イベントへの出展	イベント出展に関する企画調整業務等の委託	953,500	・グラスワイン等の販売体制の構築 ・ワインバレー、伝統的工芸品のPR ・木曾漆器箸の調達及び提供			
		職員旅費	207,660	・松本-福岡往復旅費、宿泊費(2名分)			
合計		1,161,160					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	ワインバレーのワイン及びぶどうジュースの提供		500杯以上	946杯	● 達成		
	伝統的工芸品の体験いただくための木曾漆器箸の提供		150膳以上	200膳	○ 一部達成		
	松本-福岡便における令和6年11月～令和7年3月の利用者数(参考)昨年度実績3万2857人		3万3000人以上	3万5867人	○ 未達成		
事業実績・成果	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡で開催されたRKBカラフルフェス2024の信州ブース内に「ワインブース」を設置し、グラスワインを提供するとともに、伝統的工芸品(木曾漆器のワイングラス・お椀セット、松本紬の名刺入れ等)を展示 ・松本地域のグラスワイン(20種類)とぶどうジュース(2種類)を計946杯提供(昨年比14%増) ・松本地域のワイン、伝統的工芸品、定期就航便に関心を持っていただくためのアンケート(ノベルティ: 木曾漆器箸)を200名に実施 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワインブース来場者の約半数がリピーターであり、継続した取組が松本地域のワインのファンづくりにつながっている。 ・ワインの受賞歴や特長を記したメニュー表に改善したことで訴求力が高まり、グラスワインの提供数が増え、地元特産品の消費拡大につながった。 ・アンケートノベルティ(木曾漆器箸)の提供、実展示、説明チラシ配布等を通じて、伝統的工芸品の認知度向上や関連商品の販売につながった。(販売は塩尻市や松本市等と連携) ・松本地域の特産品や定期就航便等のPRを通じて、松本地域をはじめ長野県を身近に感じていただくことができた。 						
	今後の方向性	・さらに効果的に事業を実施するため、信州まつもと空港地元利用促進協議会等と連携し、信州ブース全体の回遊性を高めるなど、ワインブースへの来場者をさらに増やす工夫を図っていく。					